

「JKビジネス」はNO！



～久万高原警察署からのお知らせ～

近年、大都市の繁華街を中心に女子高校生等によるマッサージ、会話やゲームを楽しむなどの接客サービスを売り物とする営業が見られ、「JKビジネス」と呼ばれています。

一見すると問題のないアルバイト先に見える場合でも、女子高校生等が客から児童買春等の被害に遭うなどのケースが目立っており、安易に働くことはとても危険です。

《営業に関する検挙事例》

- 「リフレ」の経営者は、女子高校生を雇い入れ、店内の個室において、客の求めに応じて身体を接触させるなどのサービスを行わせていた。
- 「撮影」の経営者は、女子高校生を雇い入れ、店内の個室において、客の求めに応じて胸部等をことさら強調する姿勢を撮影させるサービスを行わせていた。
- 「コミュ」の経営者は、女子高校生を雇い入れ、店内の個室において、客の求めに応じて性交をさせるなどのサービスを行わせていた。

リフレ：女子従業員に制服やパジャマ等を着用させ、個室において、客の身体のマッサージや添い寝をするサービスを提供する形態の営業。

コミュ：女子従業員との会話を主体とするサービスを提供する営業。サービスの例としては、会話、占い、カウンセリング、ゲーム等がある。



JKリフレ、コミュ
撮影 見学 散歩
カフェ・・・



「JKビジネス」は手軽なアルバイトではなく、危険なアルバイトです。
絶対に働いてはダメ！

「JKビジネス」に係る各種トラブルに遭った際は、
警察相談専用窓口「#9110」や久万高原警察署・
駐在所等に相談しましょう！

警察では、「JKビジネス」に関して各種法令を適用して厳正に取り締まるとともに、「JKビジネス」で稼働する女子高校生等についても、街頭補導を推進しています。